

## 優勝目指し日々鍛錬

### 女性消防団員が操法訓練

本年10月に神奈川県横浜市で開催される第22回全国女性消防操法大会の宮城県代表として、登米市消防団の出場が決まり、鈴木かず江隊長はじめ選手12人は4月末から訓練を開始しました。大会は、1チーム5人の隊員が、ポンプからホースをつなげて放水し、標的を倒すまでの安全・確実性と所要時間を競います。

5月20日には、布施孝尚市長が訪れ「宮城県の代表として恥じない活躍と健闘を祈ります」と激励の言葉を述べました。鈴木隊長は「家族と周囲の協力あってのこの活動。大和町から受けた優勝のバトンを次につなげるよう頑張ります」と話していました。



消防署員の指導を受け、一つ一つ動作を確認する団員たち。大会直前まで訓練をし本大会に臨みます。

## 体験し気づく大変さ

### 岩沼中がファームステイ

岩沼市立岩沼中学校の2年生145人は5月14、15の両日、登米町をはじめとする33世帯に宿泊して登米市の農村生活を体験しました。

登米町峯畑の金田よし子さん宅には、5人が宿泊。到着後さっそくアスパラガスの収穫と計量作業をしました。また、登米町日野渡の高橋敬さん宅では、豆腐作り、リンゴジャム作りを体験。高橋さん宅で農作業を体験した日黒さんは「豆腐作りやジャム作りなど、普段できないことが体験できて楽しかった」半澤さんは「農業は収穫だけが作業と思っていましたが、体験してその大変さが分かりました」と話していました。



アスパラガスの収穫作業の説明を受ける岩沼中生徒たち。農作業が、地味で大変な作業だということを痛感していました。

## 命の花を咲かせよう

### 5校で人権の花運動実施

人権擁護協議会委員による「人権の花運動」は6月3日、中津山小学校（小野寺由子校長）で開催され、マリーゴールドとベコニア160本を植えました。この事業は市内小学生に、花をいっしょに育てることを通して「思いやりの心」と「命の大切さ」を学ぶことを目的としています。本年度は、新田、米川、石森、中津山、西郷の各小学校が対象に実施。

本年から、登米総合産業高校の生徒の協力を得て花を植栽。最後に、児童代表で6年生の千葉唯花さんが「一緒にできて楽しかったです。みんなが笑顔になるように花を育てます」と話しました。



産業高校生と花を植える児童たち。「お兄さん、お姉さんが優しく分かりやすく教えてくださいました」と話していました。

## 未来の自分を発見!

### 市内各地で職場体験実施

佐沼中学校(大内俊吾校長)2年生の職業体験学習は5月13から15の3日間、市内事業所の協力を得て開かれました。

市役所で職場体験したのは、鈴木瑠君と藤井陸君の2人。13、14日は総務部総務課と迫総合支所で窓口受付など、15日は、広報紙編集の仕事を経験しました。

2人は、職員から広報の仕事内容やカメラの使い方などの説明を受け、早速市内へ取材に。体験後2人は「広報を作るのは大変だったけど楽しかった」と話してくれました。岩沼中ファームステイの記事は、鈴木君、藤井君が撮影、編集したものです。



少し緊張しながら、岩沼中生徒にインタビューをする鈴木君と藤井君。

## 詐欺被害を未然防止

### 佐沼警察署が感謝状贈呈

5月27日に、イオンスーパーセンター佐沼店の現金自動預け払い機コーナーで、本市消費生活相談員の佐藤ふき子さんが、石巻市在住の女性が振り込め詐欺の被害に遭うのを未然に防ぎました。このことに対して6月4日、佐沼警察署長が佐藤さんに感謝状を贈呈しました。

携帯電話で話をしながら、現金自動預け払い機を操作している女性に、詐欺の恐れがあると説得。納得しない女性に何度も粘り強く話したところ、本人が詐欺だと気づきました。佐藤さんは「被害がなくて何よりでした。市民皆さんも気をつけて」と話しました。



笹原隆二佐沼警察署長が感謝状を贈呈。笹原署長は「佐藤さんの勇気ある行動に感謝します」とねぎらいました。

## 健康管理は日頃から

### 看護のひろば 2015 開催

看護のひろば2015は5月13日、登米市民病院で開かれ、病院利用者などを対象に健康状態の確認、栄養相談や糖尿病の予防について説明しました。

看護週間にちなみ、看護の心を広く伝えようと、登米市民病院の看護部と栄養管理室が中心となり開催。

糖尿病の予防については、体重の変化や食事の状況を確認し、糖の吸収を抑える食事の順序などをアドバイスしました。このイベントで114人が相談を受け、健康状態に応じて簡単に血糖値などを検査できるプチ健診を勧めるなど、日頃の健康管理の重要性を伝えました。



当日、職場体験をしていた佐沼中と中田中の生徒にも手伝ってもらいました。